



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363
 例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣ 才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F
 会長 柳川和一郎 幹事 宮田敬之佑 会報委員長 土岐甚五郎

才126回 例会 昭和53年2月13日(月) 於海南商工会議所

1. 開会 司会 柳川和一郎

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席率 78.78% 会員総数 33名 出席者数 29名
 前回修正出席率 90.91%

出席標語 「卓話聞き知識広めむ奉仕の道、(山野明君)」

4. ゲスト 自衛隊和歌山連絡部長一等陸佐 阿部亀夫氏

5. ビジター 中野利生様(海南R.C.) 玉置勇様(海南R.C.)
 山本芳郎様(和歌山南R.C.) 前窪貫志様(和歌山南R.C.)
 西林猛文様(和歌山東R.C.) 川口正雄様(和歌山東R.C.)
 湯川定助様(和歌山R.C.)

6. メイキャップ 上田文亮君(2/4 和歌山東南R.C.)

7. 会長スピーチ ビジターの方々ようこそいらっしゃいました。本日も才126回の例会で御座居ます。御報告と御紹介申上ます。去る2/8海南R.C.海南東R.C.共催によります桜の森植樹祭が、絶好のお天気に恵まれまして無事終了致しました。坂上委員長外多数御出席頂いて誠に御苦勞様で御座居ました。私事で御座居ますが、あの場所にテニスコートが三面出来るそうで御座居ます。来年から桜も咲く事ですし、桜の中で桜トーナメントとでも銘打った市民大会でも開きたいと思っています。それから西川君の長女がお生れになって、宮田幹事さんとお祝いに行ってきた、お目出度う御座居ました。本日阿部一等陸佐をお招きして居ります。さき程NHK25周年のテレビ番組の中で、吉田首相が警察予備隊の設立する時、アメリカとの掛引の様子が刻明に画き出されて居りましたが、その後進に当って居られます阿部一等陸佐の御講演を聞きたいと思ひます。

8. 幹事報告

○ 例会日時・会場臨時変更のお知らせ

・ 豊中北R.C. 3/3(金) - 2/28(火) 12:30ホテルアイボリー3F

(地区大会ホスト)

SERVE TO UNITE MANKIND 全人類を結びつけるために奉仕せよ

- ・有田南R.C.の認証式ですが、式典の都合で会長1名出席することになって
いますので3/27は例会変更なしで平常通り

9. 委員会報告

○ 国際奉仕委員会（中村隆俊委員長）

- ・ミルトンR.C.より3回目の「マテッドクラブと提携しないか」との手紙が
来ています、先般理事会で受入を承認決定致しました報告します。

○ 青少年奉仕委員会（上田委員長）

- ・物を大切にしましょう、の作文を募集、優秀作品を表彰したい、各委員様
にお願いをして選考致しました回覧します、一読下さい。

10. 卓 話 一等陸佐阿部亀夫氏

私は昨年8月に自衛隊地方連絡部長として参りました阿部一佐で御座居ます。今日は当クラブで話をと言う事で、お話と映画でもと思ったのですが、時間は30分位との事ですので、先づは何よりも御挨拶が先だと思われましたので出て参りました。御承知の様に今の防衛庁自衛隊は、各県に地方連絡部と言うのを設けて居ります。防衛庁の各県ごとの出先機関でありまして、国の機能である防衛機能にかかわります行政的な事を、県知事と夫々の地方に於て接渉する窓口機関と言う事で、自衛隊の陸海空の部隊とは全然別であります。全国に散ばって居ります部隊は、言うなれば実力部隊、武力部隊であります。地方連絡部はその夫々の実力部隊の運用にかかわります。地方行政との連絡窓口で御座居ます。

実力部隊が持って居ります以外の機能を地方連絡部で行う、私共の営業品目と申しますと、防衛機能全般に亘る訳であります、当面一番苦勞しているのは募集で御座居ます。昔と違ひまして若い人達を此の防営の同じ絆の中に同志を得ると云う事は仲々の苦勞がなければやれない時勢となりました。募集がかなりの比重を占めて居ります。本来の私共の一番大切な任務は、夫々全国の地方地方にその地域各の防衛機能を持って居ります。防衛機能と言うのは、少くとも各県に一つ以上の部隊を置いて、その部隊が地域の防衛を担当すると言うのが基盤的な構想であります。併し諸種の事情から各県各に防衛部隊を置くと言う事になっていない。まだ各県に実力部隊を置く程整っていない、全国に陸上自衛隊ですと13個師団しかない。13個師団の内1個師団は機動部隊で随時全国何処へでも飛んで行ける部隊が1つある。之は訓練の都合で北海道に置いてある、後12個師団で夫々の地方を受持っている。例へば和歌山ですと近畿6県を受持っている伊丹才3師団があって、その分科部隊の1つが信太山に才37普通科聯隊と言うのがあります。昔の和歌山にありました61聯隊の様な性格の部隊で、之は和歌山に置く事が出来なくて信太山に居って和歌山を担当して居る。その和歌山の防衛事項の窓口を行うのが私の任務であります。併し此の様な至命のない事が望ましいのでありまして、機能としてはそう言う機能を持って居りまして、一旦緩急ある場合に備えてと言うのが私の本来の任務であります。その他防衛出動の外に治安出動、平和な和歌山にあってほしくない事です。

次は災害派遣と言うもので自衛隊の持つ至命の内かなりのウエイトを持つ件務で御承知様に全国で活躍しています。現在和歌山では非常に山火事が多い、県より連絡がありますと私の方からその規模によりまして、どう言う部隊を何処から歩らせと言う事を私が指命する訳です。それにもとづいて部隊が応援態勢をとり

ヘリコプター飛行機を飛ばせて現場に急行する。後民政協力と言うのがあります。今迄のは国家機能によって動く訳で諸経費一切防衛庁が持つて行うのですが、民政協力と言うのは、自衛隊の持っている能力の範囲内で行うもので、近い例が有田のコレラの防疫作業で私に取っては災害出動の場合は和歌山県や市町村に御迷惑は掛けない自衛隊だけでやる、防疫作業で出動する場合は市長村から隊員の日当程度のもは頂かねばならない。民政協力で出るか、災害派遣で出るのか私の痛い脳みの所であり、其の辺の判断が非常にむづかしい、年間ひっきりなく行っていますのが部外工事と言う土木事業であります。市町村から県を通じて私の方へ沢山要望がありますのを、隊力に応じて之だけはやれる。そして公益的な優先順位をつけまして、此の順位でこの様にやりましょう。此の事業には此の隊力を使いましょう。と言う安分方を私がやるのです。現在和歌山県では道路工事が非常に多い、此処はメイン道路は海岸線にありまして、山の中に入りますと県道と言われましても獣道でないかと思われる道があります。之を拡巾して車が通る様にしてその民政や産業に協力すると言う大切な仕事で、年間ひっきり無にやっている現在那智勝浦町と本宮町を結びます山間の道路を爆薬を使って公益事業を行っています、後かつらぎ町南部町であるとか、生石高原の道路とか沢山出て居ります。道を作ると言う事は昔と違い車が往復出来ると言うのが条件である。道を作る事は隊員の訓練にもなりまして私共としては非常に嬉しい事である、部隊でその様な訓練はなかなかむづかしく出来ない、道路を作る事は重要な意義をもつ、かつらぎの竣工式にも参列しましたが道路わきの杉林の値段が一べんにはね上がったと言う事も聞きました。地域産業基盤の育成に協力する。

此の様に陸上自衛隊の任務は昔と違い広範多岐であります。之はどう言う事かと言いますと1945年8月に大きな戦が負戦という結果に終わりました。それ迄各国が持つていた武力集団の地位、役割、指命というものと、20世紀後半の軍隊は各国の防衛使命を果す事以外に近代社会が要求する大きな要求があります。そういうものを合せ満たして行くのが、我々自衛隊の任務であります。昔と今の任務というものは、この様に変化を来たしています。戦がある時銃を持って戦に行くというだけでは防衛機能が果せないのだ。軍隊の地位、役割は歴史的に変わって来て居ります。自衛隊の存立という事も終戦直后とは自づと違って来て居ります。

併し厳然して残っている事は武力を以って国を守るという窮局の指命は一つも変りはない、旧軍隊の持つ指命の外に⊕アルファの仕事が沢山あるという事があります。現在の防衛庁の機能を簡単に申しますと参謀本部と言われたものに今本庁があります、長官の下でわずかな背広の事務官がおり国際的な慣行に随って陸海空三軍をコントロールしている。その下に陸海空の制服部隊がいる、男ばかりでなくお茶を汲んで貰うお嬢さん、制服の事務官もおります、これも自衛隊員である。定員266,000名年々の国家予算で人員の補充が定められている。約88%24万名の隊員が24時間勤務であります。1日8時出勤11時に終ると言う服務態勢はもっておりますが、居住も指定され大阪から和歌山に通勤という訳には参らない。

	陸上自衛隊	15.5万	} 24万名 (27万×88%)
本庁 (長官)	海	" 4.0万	
	航空	" 4.2万	

今防衛庁は2つの悩を持つている ①国の防衛を如何にして、どの様な姿形で行うかという課題 ②限られた予算の中で許される存立の範囲内で目指す防衛目標にどの様に折合を付けて行くか、前者は1945年の8月に日本は大東亜戦争というものを、みじめな敗戦で迎えました。それ迄ありました国家態勢は根底からゆるがされて、次の国家を自の意志で決める事が出来なくて占領下、占領政策という

形のみで再出発を許された。そこには未国の極東戦略の枠内でしか生きて行く道を許されなかった。大東亜戦争という目的は、はっきりしております。それは開戦の召勅にあります様に自存自営の為に戦った戦であると明示しています。

併し日本が考えた自存自営を各国が許さなかった。敗戦であの様に厳しい姿で置かれた一方我々も反省があります。昔の戦は相手国の武力集団を撃滅する事で主義を通す事でありました。併しその様な戦争形態は20世紀の後半でも依然存在して行くのかとの疑問をもったのが大東亜戦争であります。我々にとって正義の戦である、八紘一鳥というものを振りかざして戦った訳であります。東南アジアの諸民族も侵略としか受取らなかった。果して戦易に敵国軍を撃滅するだけで戦の機能は全きものか？大きな課題が残った、昔は日清戦争にしろ野戦に於て撃滅して敵国も「負けました」と手を挙げ日本の要求する賠償に応じ国家関係を快復したのです。所が近代では、敵国の軍隊をやっつけても、やっつけても戦争目的が達成出来なくなった。その良い例が朝鮮戦争、戦いでは押まくっても国際政治が許さない。最高指令官を非免する方法で決着を見た。

次にベトナム戦争へは、ベトナムという地域で才3国が介入して武力で戦った。才2次世界大戦以上の野戦ではあったが、敵を殺せども、殺せども戦争の決着がつかない、いわゆる泥沼でありまして、莫大な戦費を投じた儘アメリカは撤退した。ソソミ事件等あり、分別つかない若い将校がやった事件等ありました。

次に1次2次3次4次と続いた中東戦争も何れも武力抗争を繰返すけれども何がこの戦を結着せしめないかという、パレスチナの民族問題を解決しない限り恒久平和が来ない。これからは相手の武力をもぎ取る事が何が、目的かと云う事が問われる訳であります。結局相手の心を取らない限り戦争は結着しない、如何なる武力を行使しても戦争は、解決しない外交も政治も経済も総てが均衡の取れた国力を持って当らねば解決しない。従って各国は無制限の武力を備蓄する様な事はいたしません、集団的な安全保障でやって行こうとしています。グループで責任を持合って防衛する方向で進んで居ります。防衛産業で武器を輸出して国力を保つやり方もある訳だ、かたくなな考えでは日本は、世界に遅れを取る訳だ。大蔵省の予算の枠内で使分けをして、無駄のない計画をする訳ですが、幼稚園児と高校生とでは、小便の量が違う様に、それに応じた費用が掛る訳です。色々お話を沢山したい訳ですが、私は昨年8月着任以来、防衛庁への色々の質問、皆さん方との接触の窓口として親しまれる機関でありたいと考へて居りますので、之を機会にお近付を願うものです。幸い私共も此の海南市は事務所を設ける事になりました、一番街に誠光堂ビルの3Fに開きまして3月1日にオープンします。せいぜい御利用下さい。時間が参りました、今日は少い時間でありましたが、どうか宜敷くお願いを致します。



ニコニコBOX

西川富雄君（長女誕生にお祝を有難う）

西岡豊君（海南、海草駅伝で海南1中、天気不良の中A組優勝しました）

次回例会案内 № 127 昭和53年2月20日（月）PM12:30～ 於海南商工会議所

奉仕……それは感謝の気持から

才266地区ガバナー

菅生謙三

奉仕するために出席せよ

1977～78年度会長

柳川和一郎